

## 情報公開内容

### 課題名：MRI を用いた胎児骨の描出に関する研究

#### 本研究の目的、意義

胎児エコーで胎児の骨疾患が疑われた際には、CT による胎児の全身骨精査が行われています。一方で、胎児は細胞分裂が活発で放射線の影響を受けやすいため、可能な限り被ばく量を抑えることが必要です。MRI は被ばくがない画像撮影技術ですが、骨皮質は MRI では描出することができませんでしたが、最近、MRI により骨皮質が描出できる新しい方法が開発されつつあります。この新しい撮影方法を用いて胎児の骨を描出し、CT と代替可能かどうかを調べることが、この研究の目的です。CT と同等の画像が得られ、被ばくなく胎児骨の評価がすることが可能となれば、画像診断の安全性の向上と、将来の児の健康に寄与することが可能です。

#### 本研究の対象

広島大学解剖学・発生学研究室に保存されている、50 年以上前に当院で妊娠中絶されたと考えられる固定後 50 年以上経過している 24～36 週の胎児標本 25 体を対象とします。

#### 本研究の期間

平成 29 年 7 月 14 日（承認後）～平成 31 年 3 月 31 日

#### 研究の方法

本研究では、胎児標本から得られた MRI、CT の画像データを解析し、両画像の比較を行い、MRI での骨皮質の描出能を検討します。胎児標本の週数の情報を参照します。

#### 個人情報保護の方法

胎児標本は匿名化されており、個人の識別は不可能です。標本使用の拒否の申し出があっても、個人の識別が不可能なため削除することはできませんが、お問い合わせには可能な限り対応いたします。

#### 問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

広島大学病院 放射線診断科

研究責任者：職名 教授 氏名： 粟井和夫

研究担当者：職名 医科診療医 氏名： 松原佳子

連絡先電話番号：082-257-5257